



副校長のつぶやき

令和5年4月28日発行 No.1

秋田大学教育文化学部附属中学校 副校長 石井 学

附中三精神 「自発・創意・責任」

□副校長自己紹介

令和5年4月1日付けで、秋田大学教育文化学部附属中学校副校長として赴任した石井学です。今回で2度目の附属中学校勤務となりました。1度目は、平成10年4月1日から平成15年3月31日まで5年間勤務しました。

現在の校舎は、私が勤務していたときに改修工事が行われました。教育実習室を半分仕切って2つの学級の教室にしたり、第2体育館の四隅に四つの教室を作ったりして、授業を行っていました。また、職員室はプレイルームにありました。20年近く前のことですが、いまだによく覚えています。

私にとって、この附属中はとても思い入れのある学校です。今まで以上に素晴らしい学校にしたいという決意でがんばりますので、これからよろしくお願ひします。私の思いは、この副校長通信として発行していきます。

□新しい仲間との出会いを大切に

人生や人間関係を語るときに使われる四字熟語に「一期一会（いちごいちえ）」という言葉があります。「一生に一度の機会。生涯に一度限りであること。」という意味です。出会いを大切にすることのたとえとして使います。初めての人との出会いがよく使いますが、同じ人でもそのときの出会いは1度きりなので、全ての出会いにおいて、そのときしかない出会いを大事にするというのが正しい意味です。縁あって出会った学級の仲間、学年の仲間、そして附中生382名＋教職員36名です。このメンバーでの活動は、今年1年しかありません。自分らしさを発揮し、仲間と切磋琢磨しながら、様々なことを語り合い、附属中学校での生活を楽しみながら、新しい文化を創造してほしいと思います。

□附中三精神「自発・創意・責任」

本校の校是でもある「自発・創意・責任」の附中三精神。本校の前庭には、「自発・創意・責任」のモニュメントが設置されています。本校の卒業生や在校生は、この附中三精神を意識して学校生活を送ってきました。

自発は 爽やかな挨拶で

毎朝、生徒昇降口で登校する姿を見ていますが、笑顔でさわやかに挨拶する姿にとっても元気付けられ、「今日も1日頑張るぞ」という気持ちが出てきます。挨拶のキャッチボールは、「自分を大切に作る心」、「友だちを大切に作る心」、「円滑な人間関係」につながると私は思います。人と人との心の距離を縮める爽やかな挨拶を、これからも大切にする附中生であり続けてほしいです。

創意は 活発自由な話合いで

辞書には、「創意とは、新しく考え出した意見や見方、新しい思いつき」と書かれています。自分の考えを仲間に伝え、それをきっかけに仲間同士が自由に話し合うことで、更にすばらしい考えにたどり着くということがよくあります。様々な場面で、活発自由な話合いを通して、協働して活動する楽しさや充実感をたくさん味わってほしいです。

責任は たゆまぬ努力で

どんなに努力をしても、必ず目標を達成できるというわけではありません。（もちろん、達成するためには、効果的な方法で実践することが大切です。）努力することで、ほんの少しでも目標に近づくことは間違いありません。私は皆さんに、「心の底からのうれしさ」、「心の底からの悔しさ」を経験してほしいと思います。これは、本気で努力した人にしか分からない感情です。きっと、このような経験が皆さんを更に成長させてくれるはずですよ。